

Abu Simbel—Rebirth on the Nile—
アブ・シンベル —ナイルへの復活—

P.39

1972年にユネスコは世界の文化遺産および自然遺産の保護に関する条約を導入した。

エミは、金閣寺が京都の彼女の自宅近くにあるため、世界遺産について知っている。

彼女は、他の世界遺産についてリサーチをすることにした。

彼女は、インターネットでこの情報を見つけた。

ナイルは世界でもっとも長い川である。

それは長さがおよそ 6690 キロで、地中海に向って 9 カ国を通る。

何千年にもわたり、ナイルは農業や輸送にそれを必要としたエジプト人にとって重要であり続けている。

【文章構造：関係代名詞 who】

The Nile has been important to Egyptians who need it for farming and for transportation.

who 以降は前の Egyptians を具体的に説明している

ナイル沿いには、エジプトのもっとも有名な遺跡がある：

ピラミッド、スフィンクス、偉大なアブ・シンベル神殿である。

【Q1】

- ・なぜナイルはエジプト人にとって重要であり続けているのですか？
- ・ Because it is important for farming and for transportation.
- ・それは、農業と輸送のために重要であるから。

P.40

アブ・シンベル神殿は、紀元前 1250 年にエジプト王のラムセス 2 世によって建設された。

メインの神殿は、掛けのおよそ 60 メートル内側に建設された。

前には、王の 4 つの像があり、それぞれは 20 メートルの高さである。

王がナイルと広大な王国を見渡しているのである。